

夏休み中の生活道路は元気な子供たちに注意！ 高速道路は焦らず安全運転で！

スマートフォンでQRコードを読み込むと、DVDと同じ映像をインターネット経由でご覧いただけます。



信号無視で事故



この映像の訴求ポイントは…

- ◎右折時は焦らず、目視で左右死角の再確認を！
- ◎路側の走行は相手の死角に入って危険倍増。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



徐行の賜物



この映像の訴求ポイントは…

- ◎車列の陰は見通しの悪い交差点と同じです。徐行が鉄則。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



信号だけを見ていたら



この映像の訴求ポイントは…

- ◎人間の目は何かを注視すると、周りが見えなくなります。
- ◎発進前に自分の方に近づいてくる歩行者・自転車をチェック！



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



居眠り運転、空白の3秒



この映像の訴求ポイントは…

- ◎眠気を感じたら早急に休憩しましょう。
- ◎頻りに眠くなる場合は病気（睡眠時無呼吸症）の可能性も。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



アウトかと思った！



この映像の訴求ポイントは…

- ◎高速道路の料金所付近は事故多発地帯！要注意です！
- ◎車線変更時は左右だけでなく、後続車の有無も確認します。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

この用紙は両面印刷でご使用ください。

(表)

【コラム】夏休み中は子供の交通事故に要注意

子供たちにとって待ちに待った夏休みが始まりました。日中に子供一人で出掛けることが多い夏休みの期間中、普段にも増して気を付けたいのが子供の安全です。防犯についてはよく指摘されますが、交通事故も要注意です。夏休みに子供たちが交通事故に遭う確率は普段の1.4倍に上るといふ調査結果もあります。

夏休み中の子供の交通事故で最も多いのは、やはり自転車に乗っている最中の事故です。夏休みを利用して自転車を練習したり、日中に自転車に出掛ける機会が増えるためでしょう。左側通行の原則、交差点や進路変更時の安全確認の徹底、ヘルメットの着用など、ご自宅でも安全な自転車の乗り方を守るようにお子さんにしっかりと話をしてください。

日中に子供一人で出掛けたときに、自転車や歩行者として交通事故に遭うことは比較的想像しやすいと思います。実は意外な盲点が自動車同乗中の事故です。行楽や帰省など、夏休みにクルマに乗って出掛ける機会があるために、普段よりも自動車同乗中の事故の割合は増えるのです。

お父さんやお母さんが自らハンドルを握るクルマに乗っていて事故に遭ってしまい、大事な子供たちがケガを負ってしまうことは、とても悲しいことです。事故を未然に防ぐため、安全運転を心がけることは言うまでもありませんが、万が一の事故に備えて、チャイルドシートや後席シートベルトをしっかりと装着することが重要です。JAFと警察庁の調査では、依然として4割の人はチャイルドシートを使用していません。また、後席シートベルトの装着が義務化されましたが、一般道での取り締まりが延期されているということもあって、未だ後席シートベルトを装着していない同乗者が大多数に及んでいるのが実情です。事故に遭ったときに最も傷つきやすいのは子供たちです。子供たちを守るためにも、チャイルドシートの使用と全席シートベルト着用を習慣にしましょう。

最後に、ドライバーの皆さんも、夏休み中は、日中、子供たちが路上で遊んでいることを意識いただき、生活道路はもちろん、公園や行楽地駐車場などでは子供の飛び出しを想定した安全運転を心がけるようにお願いします。



夏休みの生活道路では、日中、路地から子供が飛び出してくることも少なくありません。制限速度を守り、特に狭い道路や見通しが悪い場所は20km/h以下に徐行しましょう。